

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年8月25日

評価者	市民防災部長 永野 英樹
-----	--------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(3) 勤労者福祉	施策の方針	6-(3)-①労働環境の充実
目標とするまちの姿	就労支援の充実を通じ、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方ができるようになるとともに、勤労者に対する福利厚生をはじめとする労働環境の整備も進んでいます。また、専門的な技能をもった技能者の育成・確保が図られています。			
主な取組	<p>(1)就労支援の充実 高齢者や子育て・介護等で離職した方、障害者、ひきこもり状態にある方など、多様な世代や背景、課題を持った方々をはじめ、就職を目指す市民のライフステージやニーズに合った就労情報の提供や、相談・支援の充実、就労支援施策を推進します。</p> <p>(2)労働環境の充実 雇用や労働環境に不安や不満を持つ勤労者に各種相談事業を実施するとともに、中小企業勤労者の福利厚生を総合的に行う湘南勤労者福祉サービスセンターを支援します。</p> <p>(3)技能の奨励・啓発と継承 技能者の育成や後継者の確保に向けて、技能者への表彰や体験活動等による啓発活動を通じて、多様な技能への関心を高めることに努めます。</p>			

## 1 成果指標

成果指標①	希望する職場で就労できていると感じる市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	47.1	47.2	48.0	49.0	50.0	51.0	
47.2		実績値	未実施	44.4					
		達成率	—	94.1%					
成果指標②	仕事と生活のバランスがとれていると感じている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	52.4	52.5	53.0	54.0	55.0	56.0	
52.5		実績値	未実施	55.2					
		達成率	—	105.1%					
成果指標③	市内の事業所における障害者就労者数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年9月	人	目標値	674	765	865	865	865	865	
625		実績値	669	883					
		達成率	99.3%	115.4%					

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	51,683	54,018				
人件費	26,298	26,878				
総事業費	77,981	80,896				

### 3 担当部評価

#### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

##### 市民防災部

成果指標に取り上げた市民アンケート調査では、希望する職場で就労できている、仕事と生活のバランスが取れていると感じている人の割合は目標をほぼ達成しているが、全体の半数であることから、引き続き割合を高めることができるよう努める。

女性や就労困難若年者などの就労支援は、まずは参加者数の確保に努めなければならないため、効果が見られる生涯現役促進地域連携事業を参考に、周知や実施の方法を検討していく必要がある。

高齢者の就労支援は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、合同就職説明会の開催方法の変更や就労啓発セミナーや職業体験会において定員の減員などを行ったため、令和3年度の就労者数は目標達成することができなかったが、就労を希望する高齢者も増えていることから、一人でも多くの就労につながるように、より一層の支援が必要となる。

#### (2)今後の方向性

##### 市民防災部

女性・高齢者・就職氷河期世代などの個別支援が必要な世代への就労支援を充実させていくとともに、市全体の就労支援施策の充実や勤労者の福利厚生充実のための施策の継続支援をしていくことにより、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方ができるようにする。

高齢者の就労支援は、現在は厚生労働省の受託事業として、生涯現役促進地域連携鎌倉協議会が主体となって実施しているが、現行体制での事業実施は令和4年度末までとなる。令和5年度以降は、当該協議会の就労支援の手法を継承しつつ、多様な世代の就労支援と連携しながら市独自に進めていく。

また、技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援等も継続して実施していくことにより、専門的な技能をもった技能者の育成・確保を図る。

#### (3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-26	労働環境対策事業		3,583	16,105	19,688	改善・変更	A	改善・変更
	市民-27	勤労者福利厚生事業		30,742	2,796	33,538	現状維持	A	現状維持
	市民-28	勤労者福祉支援事業		19,566	1,647	21,213	現状維持	A	現状維持
	市民-29	技能振興事業		127	6,330	6,457	現状維持	A	現状維持

#### (4)貢献度に関する分析

##### 市民防災部

労働環境対策事業では、高齢者、子育て中の女性や出産・介護等による就労ブランクのある女性、就労困難若年者などの就労支援を行うことができた。また、就労支援相談により18人を就労につなぐことができ、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方への支援となった。中でも高齢者の就労支援については、生涯現役促進地域連携鎌倉協議会との連携により、年間を通じた相談窓口の開設、合同就職説明会、職業体験会などを実施し、52人の高齢者を就労につなげることができた。

勤労者福利厚生事業では、福利厚生事業とを実施している団体等への支援ができたほか、新型コロナウイルス感染症により生活に影響が出ている勤労者への生活費の支援をすることで、勤労者に対する福利厚生をはじめとする労働環境の整備を進めることができた。

技能振興事業では、技能者表彰や技能職団体連絡協議会の活動支援をすることにより、技能職者の社会的地位向上と活動の周知を支援することができ、専門的な技能をもった技能者の育成・確保を図ることができた。